



ピアノ
小曾根 真

管弦楽
仙台フィルハーモニー
管弦楽団

指揮 パスカル・ヴェロ

ラフマニノフ
パガニーニの主題による狂詩曲
リムスキー・コルサコフ
交響組曲「シエエラザード」

アイリスオーヤマ・クラシックスペシャル2026

Pascal VERROT

パスカル・ヴェロ × 仙台フィル

SENDAI Phil

サントリーホール

◎東京メトロ南北線「六本木一丁目駅」より 徒歩約5分
◎東京メトロ銀座線・南北線「溜池山王駅」より 徒歩約10分
◎都営01系統バス（渋谷～新橋）「赤坂アークヒルズ前」より 徒歩約3分

全席指定 チケット 発売日
 ジャパン・アーツぴあオンライン
 先行発売：2026年1月24日（土）
 一般発売：2026年1月31日（土）

S席：¥8,000 A席：¥7,000
 B席：¥6,000 C席：¥5,000
 P席：¥4,500 ユース席*：¥1,500

★ユース席は演奏会当日25歳未満の方が対象。取り扱いにはジャパン・アーツぴあのみとなります。
 年齢の証明となるものを提示のうえ、公演当日チケットと引き換えます。お席の指定は応じかねます。

2026
 6/9 火

19:00 開演 | 18:15 開場

[チケットのお求めは]

- ジャパン・アーツぴあ
TEL.0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
- 仙台フィル公式サイト www.sendaiphil.jp
- サントリーホールチケットセンター
TEL.0570-55-0017
- チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:316-399]
- ローソンチケット l-tike.com [Lコード:31107]
- イープラス eplus.jp
- 仙台フィルサービス TEL.022-225-3934

主催：アイリスオーヤマ株式会社

共催：公益財団法人仙台フィルハーモニー管弦楽団 株式会社ジャパン・アーツ

※未就学児の入場はご遠慮ください。※開演中の入退場は一切お断りいたします。※やむをえない事情により出演者及び曲目が変更になる場合がございます。※不可抗力により表記日時の催物を中止する場合以外には、料金の払い戻しをいたしません。

ほとぼしる浪漫。音の華やぎ。感動の夜。

2026年も、杜の都から仙台フィルがサントリーホールにやってくる！

圧巻のコーブランド「交響曲第3番」などを披露した2024年に続き、桂冠指揮者パスカル・ヴェロが満を持しての再登場。しかも、ジャズとクラシックの間の壁を乗り越え国際的に活躍するピアニスト小曾根真との共演というのだから、これは聴き逃さない！

小曾根が得意とするラフマニノフ「パガニーニの主題による狂詩曲」では、近代の浪漫あふれる響きを、私たちはスリリングかつ愉悅に満ちた、とっておきの音楽体験として味わえるだろう。ジャズピアニストである小曾根とヴェロ指揮の仙台フィルが、さてどんな化学反応を見せてくれるのか？

リムスキー=コルサコフ「シェエラザード」では、ヴェロのタクトで色彩と躍動に満ちた音が仙台フィルから生まれ、豊かな物語が紡がれていく。雄大な海のうねり、若人たちの美しき愛の語らい、そして華麗なる音の饗宴まで。色鮮やかでエキゾチックな音絵巻が、私たちの心を奪って離さない。

行き先は定まった。さあ、オーケストラを存分に楽しむ旅に出かけようではないか！

指揮 パスカル・ヴェロ

1959年フランス生まれ。1985年民音指揮コンクール第3位及び齋藤秀雄特別賞を受賞し、小澤征爾の招請によりボストン響副指揮者に就任。その後、ケベック響音楽監督、新星日響首席指揮者を歴任。フランスではピカルディ管音楽監督、コンピエヌ帝国劇場芸術監督、ディジョン歌劇場音楽監督を務めた。2006年～2017年度まで仙台フィル常任指揮者を務め、フランス音楽を中心に色彩と躍動感ある響きでファンを魅力し続けてきた。2016年の第300回定期演奏会および東京特別演奏会でのベルリオーズ「幻想交響曲／レリオ」は大成功を収めた。2018年度より仙台フィル桂冠指揮者を務める。

2027年2月には仙台にて、フランス6人組にフィーチャーした第397回定期演奏会への出演が予定されている。

Pascal VERROT アイリスオーヤマ・クラシックスペシャル2026 SENDAI Phil

ピアノ
小曾根真

Makoto OZONE

ジャズ、クラシックの垣根を超えた独自のアプローチで世界的に活躍するピアニスト、作曲家。バークリー音楽大学卒業後、ゲイリー・バートン、チック・コリア、ブランフォード・マルサリスなど、名だたるアーティストと共演し、ジャズシーンにおける確固たる地位を築く。その後、クラシックの分野でも、ニューヨークフィル、ベルリン放響など、世界の名門オーケストラと共演。近年は若手をサポートするプロジェクト「From OZONE till Dawn」に取り組み、現在、そのメンバーとともにトリオ「TRiNFiNiTY」を結成し国内外で活動。また、20年目となるビッグバンド「No Name Horses」での全国ツアー、メルボルン、モントルーなどの世界的なジャズフェスや、ラヴィニア音楽祭、ショパン祭などクラシックの祭典への出演など、世界の最前線で躍進を続けている。ニューヨーク在住。

仙台フィルハーモニー管弦楽団

1973年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、室内楽等で音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し絆を紡いだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国小中学校訪問演奏会、また「仙台国際音楽コンクール」のホストオーケストラとして出演、「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。2023年に創立50周年を迎えた。



パスカル・ヴェロ × 仙台フィル



飲みやすい
だから
朝にあう

アイリスの
お茶

緑茶

りよく



アイリスオーヤマ株式会社

アイリスのお茶

